

埼玉連理 第1号
令和3年4月1日

埼玉県弓道連盟
道場責任者様

埼玉県弓道連盟
会長 本橋 民夫
(公印省略)

令和3年度コロナ禍の下での事業展開（特に弓道教室）について

日ごろより、埼玉県弓道連盟の事業推進につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染問題は、発生から1年が経過しますがいまだ終息せず、現在は感染拡大第4波が懸念される状況となっています。こうした状況にもかかわらず、埼玉連では会員の皆様のご努力により道場でのクラスターの発生はなく、安全・安心の弓道稽古が行われる状況が続いてきました。しかしながら変異株の増加など懸念材料も多く、今後も各道場での事業展開にあたっては引き続きガイドラインⅣと各種手引きの遵守をお願いいたします。

特に新年度には弓道教室を予定している道場も多いと思いますが、初心者を迎えるにあたってはとりわけ慎重な準備が必要です。改めて「コロナ禍における弓道教室の手引き」をお送りいたしますので、弓道教室に関わる皆様で確認していただき、施設との連携もとりながら安心・安全な弓道教室開催に努めていただくようお願いいたします。

添付文書： コロナ禍における弓道教室の手引き

問い合わせ先
埼玉県弓道連盟 理事長 平野博幸
090-8100-3963
hiroyuki.h01200@m3.dion.ne.jp

以上